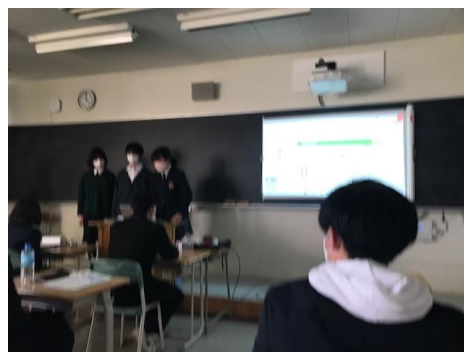


## 2023-2-27 ～ 課題研究発表にチャレンジ ～

2月5日(日)本校2年生 16名が『生徒研究成果合同発表会 Toyama Science Symposium』(戸山高校)に参加し、口頭発表やポスター発表を行いました。また、2月16日(木)には本校で『2年SSHクラス 課題研究Ⅱプレ発表会』が開催され、2年SSHクラス全員がポスター発表を行いました。生徒同士で、また大学教授等の専門家から質問やアドバイスを受け、大いに刺激になったことと思います。



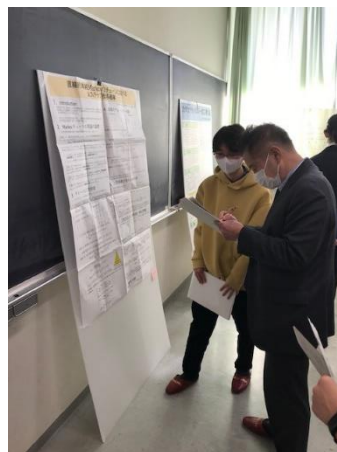
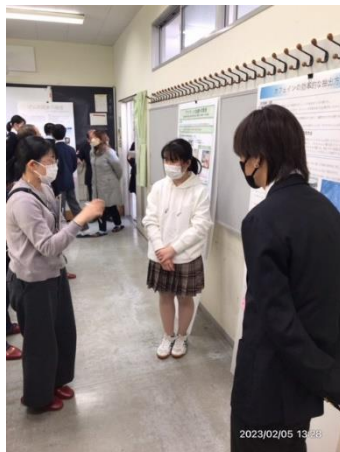
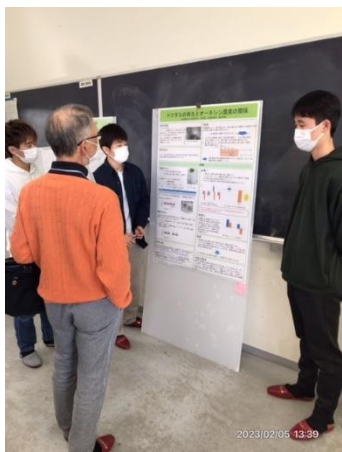
研究発表については、できるだけ発表機会を多く、つまり「場数」を踏んでほしいと思います。例年、夏休みに神戸で開催される「SSH生徒研究発表会」にて、全国SSHの生徒の発表を何度か見てきましたが、優れた発表は間違いなく相当場数を踏んでおり、そのたびに色々な指摘を受けて洗練されていったのだろうと推測できます。発表数が増せば、そのたびに質も上がります。

さて、戸山高校では生徒の発表に先立ち、工学院大学副学長の蒲池みゆき氏の講演がありました。講演の中で、

- こうすればもっと良くなるという constructive comment (建設的批評) ができるように。
- 幅広く興味を持ち、一つのことを深く追求してほしい。
- 高校では特に、数学、理科、情報、国語、英語を、そして、歴史と経済、芸術にも関心をもって。という話をされたことが印象に残りました。本校が目指す、幅広い教養と探究する力を身に付ける教育の方向性と同一だと感じました。

今後、生徒たちは、更に自らの課題研究に磨きをかけ、3/17 八丈高校との交流発表会、3/23 本校SSH実践報告会、3/26 関東SSH指定校研究発表会などに臨みます。課題研究を通して生徒がお互いに切磋琢磨し、また一步成長することを期待したいと思います。

### 2月5日(日)『生徒研究成果合同発表会 Toyama Science Symposium』(都立戸山高校)



2月16日(木)『2年SSHクラス 課題研究Ⅱプレ発表会』(本校)

